

若者の7割超「自分の市場価値上げたい」

Z世代が新入社員として入社する今の時代、価値観の異なる若者へのマネジメントに頭を悩ませる企業も多い。そこで、Z世代のキャリア観について調査した結果を示すとともに、人手不足や若手の早期離職が課題に挙がる宿泊業界で、新人研修や若手社員の育成に力を入れる二つの旅館に話を聞いた。

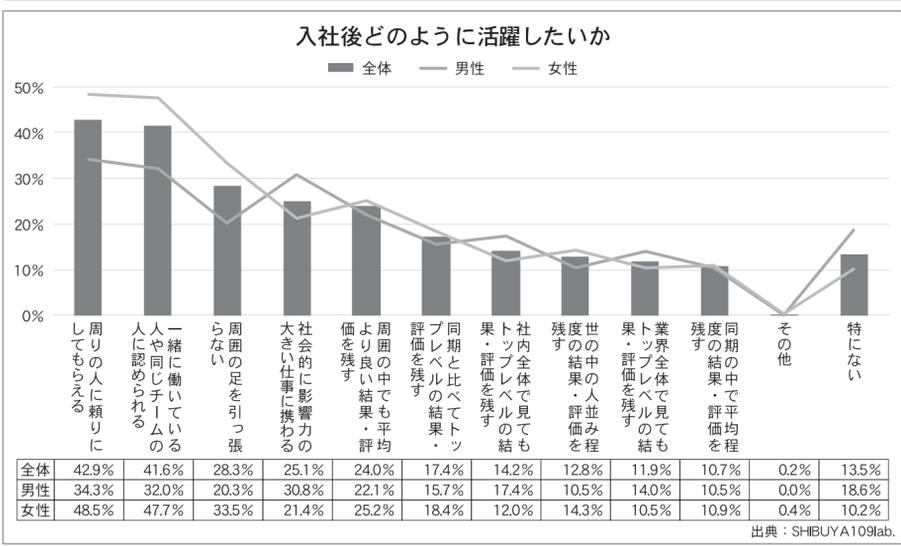
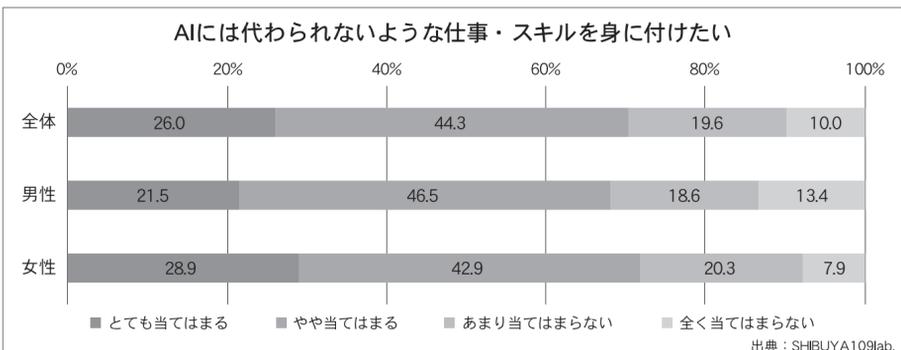
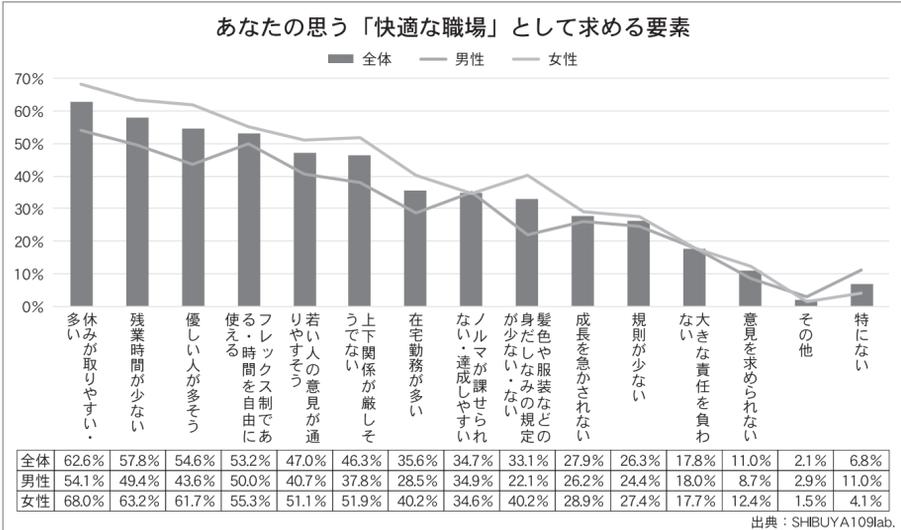
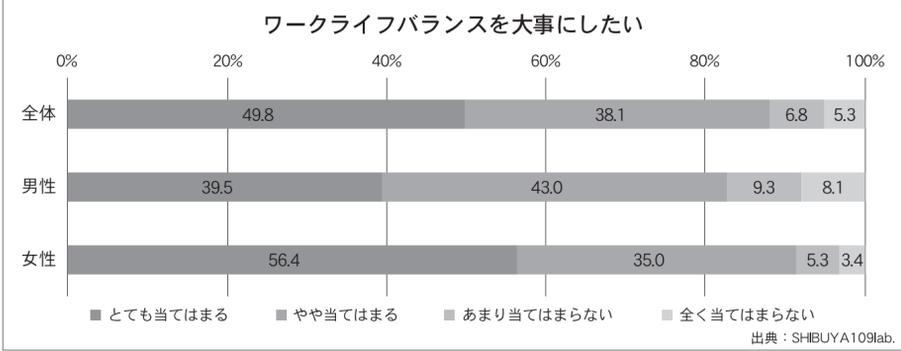
SHIBUYA109lab. 調べ 「Z世代のキャリア観に関する意識調査」

Z世代 1990年代後半～2012年ごろに生まれた若者を指す ※明確な定義は存在しない

SHIBUYA109 エンタテインメントが運営する新しい世代に特化した若者マーケティング調査機関「SHIBUYA109lab.」は、このほど、「同社が実施したZ世代のキャリア観に関する意識調査」の結果を発表した。これによると、バリバリ働いていきたいと回答した人は約49%にとどまるも、自分のペースで成長したい人が約80%、自分の市場価値を上げたい人が約75%と、一定の成長意欲がみられることが分かった。

「自分のペースで」8割 仕事は自分軸、意欲高く

とら、「仕事におけるZ世代の成長意欲は自分で決定される傾向にある」と同社は分析している。働く環境について、8%、「優しい人が多すぎ」が54.6%だった。入社後のキャリアについて、AIには代わられないようなスキルを身につけたいと回答した人は70.3%（「とても当てはまる」は21.1%）と、調査結果について、同社の長田麻衣子社長は「ワークライフバランスを重視するなど、見仕事に対する意欲がないように思われがちだが、市場価値を高めることも含め、一定の成長意欲を持っている実態がみられる。現在、人手不足が深刻化している中、貴重な働き手である若者の就業意識に注目が高まっているが、無難な過保護体制ではなく、成長の見える化、個々のペースに合わせた成長支援など、若手の成長支援と向き合うプロセスの見直しが必要」とコメントした。



静岡県伊豆の温泉旅館「望海」の宿いなり荘(村木康之社長)は、今年度4人の新入社員を迎えた。新人研修は1カ月間、社会人としてあるべき姿を、そして同旅館の社員としての心構えやスキルを習く。

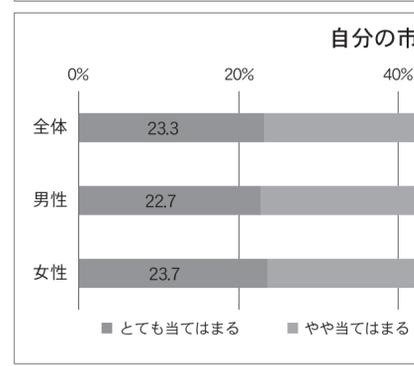
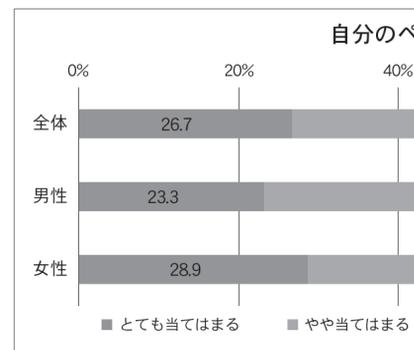
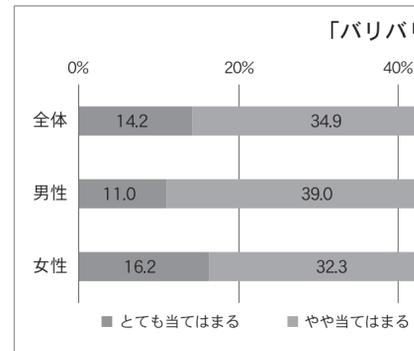


食事処での接客研修

「バリバリ」働いていきたいと回答した人は約49%にとどまるも、自分のペースで成長したい人が約80%、自分の市場価値を上げたい人が約75%と、一定の成長意欲がみられることが分かった。

「ワークライフバランスを大事にしたい」と回答した人は49.1%（「とても当てはまる」は21.1%）と、調査結果について、同社の長田麻衣子社長は「ワークライフバランスを重視するなど、見仕事に対する意欲がないように思われがちだが、市場価値を高めることも含め、一定の成長意欲を持っている実態がみられる。現在、人手不足が深刻化している中、貴重な働き手である若者の就業意識に注目が高まっているが、無難な過保護体制ではなく、成長の見える化、個々のペースに合わせた成長支援など、若手の成長支援と向き合うプロセスの見直しが必要」とコメントした。

「接客をする上での所作、代がつかないのは平等だ」という声や、若手社員が「固定残業代を導入し、自分のペースで成長したい」と訴える声も聞かれた。松本由起女将は「接客は、若手社員が自ら手を上げる経験が、若手社員の成長につながる」と話している。



「ワークライフバランスを大事にしたい」と回答した人は49.1%（「とても当てはまる」は21.1%）と、調査結果について、同社の長田麻衣子社長は「ワークライフバランスを重視するなど、見仕事に対する意欲がないように思われがちだが、市場価値を高めることも含め、一定の成長意欲を持っている実態がみられる。現在、人手不足が深刻化している中、貴重な働き手である若者の就業意識に注目が高まっているが、無難な過保護体制ではなく、成長の見える化、個々のペースに合わせた成長支援など、若手の成長支援と向き合うプロセスの見直しが必要」とコメントした。

「ワークライフバランスを大事にしたい」と回答した人は49.1%（「とても当てはまる」は21.1%）と、調査結果について、同社の長田麻衣子社長は「ワークライフバランスを重視するなど、見仕事に対する意欲がないように思われがちだが、市場価値を高めることも含め、一定の成長意欲を持っている実態がみられる。現在、人手不足が深刻化している中、貴重な働き手である若者の就業意識に注目が高まっているが、無難な過保護体制ではなく、成長の見える化、個々のペースに合わせた成長支援など、若手の成長支援と向き合うプロセスの見直しが必要」とコメントした。

「ワークライフバランスを大事にしたい」と回答した人は49.1%（「とても当てはまる」は21.1%）と、調査結果について、同社の長田麻衣子社長は「ワークライフバランスを重視するなど、見仕事に対する意欲がないように思われがちだが、市場価値を高めることも含め、一定の成長意欲を持っている実態がみられる。現在、人手不足が深刻化している中、貴重な働き手である若者の就業意識に注目が高まっているが、無難な過保護体制ではなく、成長の見える化、個々のペースに合わせた成長支援など、若手の成長支援と向き合うプロセスの見直しが必要」とコメントした。

「ワークライフバランスを大事にしたい」と回答した人は49.1%（「とても当てはまる」は21.1%）と、調査結果について、同社の長田麻衣子社長は「ワークライフバランスを重視するなど、見仕事に対する意欲がないように思われがちだが、市場価値を高めることも含め、一定の成長意欲を持っている実態がみられる。現在、人手不足が深刻化している中、貴重な働き手である若者の就業意識に注目が高まっているが、無難な過保護体制ではなく、成長の見える化、個々のペースに合わせた成長支援など、若手の成長支援と向き合うプロセスの見直しが必要」とコメントした。

「ワークライフバランスを大事にしたい」と回答した人は49.1%（「とても当てはまる」は21.1%）と、調査結果について、同社の長田麻衣子社長は「ワークライフバランスを重視するなど、見仕事に対する意欲がないように思われがちだが、市場価値を高めることも含め、一定の成長意欲を持っている実態がみられる。現在、人手不足が深刻化している中、貴重な働き手である若者の就業意識に注目が高まっているが、無難な過保護体制ではなく、成長の見える化、個々のペースに合わせた成長支援など、若手の成長支援と向き合うプロセスの見直しが必要」とコメントした。

「ワークライフバランスを大事にしたい」と回答した人は49.1%（「とても当てはまる」は21.1%）と、調査結果について、同社の長田麻衣子社長は「ワークライフバランスを重視するなど、見仕事に対する意欲がないように思われがちだが、市場価値を高めることも含め、一定の成長意欲を持っている実態がみられる。現在、人手不足が深刻化している中、貴重な働き手である若者の就業意識に注目が高まっているが、無難な過保護体制ではなく、成長の見える化、個々のペースに合わせた成長支援など、若手の成長支援と向き合うプロセスの見直しが必要」とコメントした。

「ワークライフバランスを大事にしたい」と回答した人は49.1%（「とても当てはまる」は21.1%）と、調査結果について、同社の長田麻衣子社長は「ワークライフバランスを重視するなど、見仕事に対する意欲がないように思われがちだが、市場価値を高めることも含め、一定の成長意欲を持っている実態がみられる。現在、人手不足が深刻化している中、貴重な働き手である若者の就業意識に注目が高まっているが、無難な過保護体制ではなく、成長の見える化、個々のペースに合わせた成長支援など、若手の成長支援と向き合うプロセスの見直しが必要」とコメントした。

「ワークライフバランスを大事にしたい」と回答した人は49.1%（「とても当てはまる」は21.1%）と、調査結果について、同社の長田麻衣子社長は「ワークライフバランスを重視するなど、見仕事に対する意欲がないように思われがちだが、市場価値を高めることも含め、一定の成長意欲を持っている実態がみられる。現在、人手不足が深刻化している中、貴重な働き手である若者の就業意識に注目が高まっているが、無難な過保護体制ではなく、成長の見える化、個々のペースに合わせた成長支援など、若手の成長支援と向き合うプロセスの見直しが必要」とコメントした。

いなとり荘(静岡県・稲取温泉)

新人研修、若手社員の育成について

「ワークライフバランスを大事にしたい」と回答した人は49.1%（「とても当てはまる」は21.1%）と、調査結果について、同社の長田麻衣子社長は「ワークライフバランスを重視するなど、見仕事に対する意欲がないように思われがちだが、市場価値を高めることも含め、一定の成長意欲を持っている実態がみられる。現在、人手不足が深刻化している中、貴重な働き手である若者の就業意識に注目が高まっているが、無難な過保護体制ではなく、成長の見える化、個々のペースに合わせた成長支援など、若手の成長支援と向き合うプロセスの見直しが必要」とコメントした。

「ワークライフバランスを大事にしたい」と回答した人は49.1%（「とても当てはまる」は21.1%）と、調査結果について、同社の長田麻衣子社長は「ワークライフバランスを重視するなど、見仕事に対する意欲がないように思われがちだが、市場価値を高めることも含め、一定の成長意欲を持っている実態がみられる。現在、人手不足が深刻化している中、貴重な働き手である若者の就業意識に注目が高まっているが、無難な過保護体制ではなく、成長の見える化、個々のペースに合わせた成長支援など、若手の成長支援と向き合うプロセスの見直しが必要」とコメントした。

「ワークライフバランスを大事にしたい」と回答した人は49.1%（「とても当てはまる」は21.1%）と、調査結果について、同社の長田麻衣子社長は「ワークライフバランスを重視するなど、見仕事に対する意欲がないように思われがちだが、市場価値を高めることも含め、一定の成長意欲を持っている実態がみられる。現在、人手不足が深刻化している中、貴重な働き手である若者の就業意識に注目が高まっているが、無難な過保護体制ではなく、成長の見える化、個々のペースに合わせた成長支援など、若手の成長支援と向き合うプロセスの見直しが必要」とコメントした。

「ワークライフバランスを大事にしたい」と回答した人は49.1%（「とても当てはまる」は21.1%）と、調査結果について、同社の長田麻衣子社長は「ワークライフバランスを重視するなど、見仕事に対する意欲がないように思われがちだが、市場価値を高めることも含め、一定の成長意欲を持っている実態がみられる。現在、人手不足が深刻化している中、貴重な働き手である若者の就業意識に注目が高まっているが、無難な過保護体制ではなく、成長の見える化、個々のペースに合わせた成長支援など、若手の成長支援と向き合うプロセスの見直しが必要」とコメントした。

松本由起女将(群馬県・伊香保温泉)

「ワークライフバランスを大事にしたい」と回答した人は49.1%（「とても当てはまる」は21.1%）と、調査結果について、同社の長田麻衣子社長は「ワークライフバランスを重視するなど、見仕事に対する意欲がないように思われがちだが、市場価値を高めることも含め、一定の成長意欲を持っている実態がみられる。現在、人手不足が深刻化している中、貴重な働き手である若者の就業意識に注目が高まっているが、無難な過保護体制ではなく、成長の見える化、個々のペースに合わせた成長支援など、若手の成長支援と向き合うプロセスの見直しが必要」とコメントした。

「ワークライフバランスを大事にしたい」と回答した人は49.1%（「とても当てはまる」は21.1%）と、調査結果について、同社の長田麻衣子社長は「ワークライフバランスを重視するなど、見仕事に対する意欲がないように思われがちだが、市場価値を高めることも含め、一定の成長意欲を持っている実態がみられる。現在、人手不足が深刻化している中、貴重な働き手である若者の就業意識に注目が高まっているが、無難な過保護体制ではなく、成長の見える化、個々のペースに合わせた成長支援など、若手の成長支援と向き合うプロセスの見直しが必要」とコメントした。

「ワークライフバランスを大事にしたい」と回答した人は49.1%（「とても当てはまる」は21.1%）と、調査結果について、同社の長田麻衣子社長は「ワークライフバランスを重視するなど、見仕事に対する意欲がないように思われがちだが、市場価値を高めることも含め、一定の成長意欲を持っている実態がみられる。現在、人手不足が深刻化している中、貴重な働き手である若者の就業意識に注目が高まっているが、無難な過保護体制ではなく、成長の見える化、個々のペースに合わせた成長支援など、若手の成長支援と向き合うプロセスの見直しが必要」とコメントした。



お茶出し研修の様子